

一般質問

通学路の安全確保と整備は

答弁／総点検し強い気持で取組む



古庄 信一郎 議員

**古庄**

京都他一連の通学路事故を受け、国・県は通学路の「緊急合同点検」を実施した。

志免町の危険箇所。志免町道での、通学路の距離と、2m以上の歩道の整備率は、全国平均は40%、福岡県平均は37%だが。

**学校教育課長**

危険箇所は、小中学校合わせて15ヶ所。

**都市整備課長**

距離は40.9kmで歩道の整備は12.5km、整備率約30%。

**古庄**

県が推進している「ゾーン30」「安心歩行エリア」国が検討している「通学路安全アドバイス制度」他、国・県の動向をしっかり把握し、対策することも大事。今回の国通達の要項では「危険箇所を抽出し対策案を作成、これに従って防犯・防災等にも留意して、計画的に対策を実施する」とあるが、志免町の歩行者ネットワークの活用、一方通行の推進で歩道の拡幅他、既成概念にとらわれず対策をすべき。

**副町長**

町自ら、危険箇所をしっかりと把握し、学校や保護者、町内会などに寄せられている情報を教育委員会に集約し、危険性等を調査、優先順位をつけて



危険な通学路

**古庄**

整備したい。

白線を引いただけで、通学路に認定させる国の考え方も間違いだかそれが現実。その中で我々に何ができるかしっかり対策すべき。全庁挙げた「通学路安全対策会議」を設けて取組むべき。

**町長**

他ではなく、わが町学路の総点検をし、出来ることはすぐやる思いで、関係各課、合議をしながら、わが町の子供たちを交通事故に遭わせないという強い気持で取組む。

**古庄**

鏡地区緑道の未整備箇所、112mの現況は、撤退した隣接の会社に浮浪者、ガラスは割れ緑道に散乱。緑道は志免の誇り。即、整備を。

**町長**

地元要望も踏まえ整備。

鏡緑道未整備箇所早期整備を

答弁／地元要望も踏まえ整備する